

オンライン説明会

ひょうごの宝探しプロジェクト

2024.4.15

ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）

次第

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 16:00 ~ 16:05 | 開会・あいさつ（万博推進課長） |
| 16:05 ~ 16:12 | 事業概要の説明（万博推進課職員） |
| 16:12 ~ 16:27 | プロジェクトの趣旨説明（信時企画委員会専門委員） |
| 16:27 ~ 16:42 | 動画撮影・制作の説明（有田県広報プロデューサー） |
| 16:42 ~ 16:45 | 応募にあたっての留意事項（運営事務局） |
| 16:45 ~ 17:00 | 質疑応答 |

※あくまで目安であり、進行状況等により時間は前後することがあります。

開会・あいさつ

事業概要

ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）



ひょうごフィールドパビリオンとは何ですか。



万博のために、
新たに施設を作ったり、
新しい取り組みを始めたりするわけではないよ。

兵庫県では、県内の各地で
SDGsに資する様々な取り組みが、
日常生活や活動の中で行われているんだ。

その活動現場そのものを、
実際に現地に行って、
見て、学んで、体験してもらおう。
それが「ひょうごフィールドパビリオン」なんだ。



何を目指しているんですか。



その体験を通じて学んだことを
それぞれの国や地域に持ち帰ってもらって、
様々な課題解決のきっかけやヒントにしてもらおうとしているんだ

※画像等はすべてイメージであり、特定の地域で特定のSDGsに資する活動が行われているわけではありません。



植生豊かな湿地帯が
コウノトリの平地となりました



現在 **211** の
プログラムを認定



阪神・淡路大震災をきっかけに
創造的復興の理念が確立され
ました

例えば、
こんな取り組みがあるよ



ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）



荒湯で「湯がき」を行う地域住民



荒湯で「温泉たまご」づくり



地域の理美容店は全店「温泉洗髪」



地熱バイナリー発電



温度差発電（パルチェ発電）

自然エネルギーを活用した 「湯がき体験」（但馬） Blanching in hot spring water

- 湯村温泉では、1200年前の開湯以来、98℃、470ℓ/分の豊富な温泉を利用し、入浴だけでなく、**山菜などを湯に浸けて調理する「湯がき」**が行われてきた。
- 現在では、温泉に含まれる成分に着目し、洗濯や洗髪に活用の道を広げるなど、**「生まれてから温泉三昧」**の温泉文化が家庭の暮らしまで行き届いている。
- 新しいチャレンジとして、旅館の冷暖房や温度差を利用した発電など、**地域全体で高温の温泉を最大限活用する取組**は、進化を続けている。
- こうした環境に優しい暮らしを積極的に発信しており、CO₂を排出せず、**化石燃料に頼らない取組への視座**を与える。

概要：「湯がき」をはじめ、高温の温泉を、温泉旅館や地域住民の日常生活まで町全体で活用している取組をガイドが話をします。

実施主体：湯村温泉観光協会



ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）

目的 万博という特別な機会に、地域の歴史や文化、活動する人々の大切な思いを「地域の宝」として、映像や写真を通じて国内外に発信する機会を提供し、子どもたちのシビックプライドの醸成や価値創造につなぐ

応募テーマ、応募資格等 個人・団体とも応募できる点数は、部門ごとに1作品までとする

【3分動画部門】

内容・テーマ	応募資格	活用方法
フィールドパビリオンプレイヤーの宝 （人・モノ等）を取材し、 3分以内の動画 を制作	兵庫県内に在住又は兵庫県内の学校に通う中高生・大学生等（※1）の 団体	県公式HPやSNSへの掲載、関西パビリオン「兵庫県ゾーン」や県立美術館に設置するモニターでの投影、 万博会場等でのプレゼンテーション 等

※ フィールドパビリオンは、県内各地で行われている様々な持続可能な取組みの魅力を地域の人たち自らが発信するプログラムであり、そのプログラムを営んでいる人々がプレイヤー。

[ひょうごフィールドパビリオン \(expo2025-hyogo-fieldpavilion.jp\)](http://expo2025-hyogo-fieldpavilion.jp)

【15秒動画・写真部門】

内容・テーマ	応募資格	活用方法
地元や通学先など、自身と関係性の深い「 地域の宝 」を撮影し、 15秒以内の動画 を制作	兵庫県内に在住又は兵庫県内の学校に通う中高生・大学生等（※1）の 個人 （※2）	県公式HPやSNSへの掲載、関西パビリオン「兵庫県ゾーン」や県立美術館に設置するモニターでの投影等
以下のカテゴリーに応じた 写真（静止画） を撮影 ①兵庫のおいしい ②兵庫の絶景 ③兵庫の自慢すべき人		

※1 中高生には、特別支援学校（中学部・高等部）や高等専門学校に通学する生徒等を含む

※2 応募者本人が撮影したオリジナルの動画・写真であれば、募集開始前に撮影した作品であっても応募可（ただし、**過去に他のコンテスト等で受賞した作品は除く**）

ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）

募集スケジュール

【3分動画部門】

赤字：応募者、黒字：事務局

4月15日

（本日）

オンライン説明会、応募受付開始



5月17日

【締切】

エントリー申込書の提出

【エントリー申込書の主な項目】

学校名、担当教職員名、所属、住所、連絡先、チーム名、構成メンバー、希望するフィールドパビリオン（第5希望まで）と希望理由、動画制作への思い等

副賞は、

最優秀賞(1作品):賞金3万円

優秀賞(2作品) :賞金1万円 だよ!

年齢等の区分ごとに各賞を選定するよ!



兵庫県マスコット はばタン

6月14日

12月20日

【締切】

応募者への取材先（フィールドパビリオン）決定通知

フィールドパビリオンプレイヤーへのインタビュー実施、動画撮影・制作、映像企画書と動画の提出

【映像企画書の主な項目】

タイトル、取材日、取材の相手方、取材内容（プレイヤーの宝、宝に関するエピソードなど）、共感できるポイント、動画制作にあたり工夫したこと、動画に込めた思い等

1月31日

3月14日

予備審査^(※)の実施

※倫理的な観点から広く公表することが可能な動画作品か否かを事務局で審査

本審査（優秀賞等の選定）結果の応募者への通知

ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）

募集スケジュール

【15秒動画・写真部門】

	募集開始日	募集締切日
第1次募集	4月15日	6月28日
第2次募集	7月16日	8月30日
第3次募集	9月17日	10月31日

※1次募集で多数の作品が集まった場合、2・3次募集を行わないことがある。
※予備審査は随時実施します。

**3分動画・15秒動画・写真の全部門において、予備審査を
通過した作品は、すべて万博会場（県立美術館）で展示します。**

プロジェクトの趣旨

宝さがしの3つの基本ステップ

宝さがしには基本的には3つのステップがあります。

- 1) 宝をさがす
- 2) 宝を取材する
- 3) 宝を伝える

ただ、宝さがしは話題になりそうな面白いものをさがすネタさがしではありません。

扱うのは人の宝です。そして、その人が大切に思っている宝への思いを丁寧に聞くと、それは確かに宝だと、いつのまにか共感している自分自身に気づくことでしょう。

人の宝を自分も宝として受け取る、これが宝さがしです。

共感ポイント

そして、宝を他の人にも伝えたいと思ったら、文章にしたり映像にしたりなど、いろいろな伝え方があります。どれを選ぶとしても、そのときに一番大事にしないではいけないのは「共感ポイント」です。

「共感ポイント」とは、自分（自分たち）は《宝の何に？ どういうところに？》共感したのかということです。これをよく自分（自分たち）の胸の中に問うようにさがす。これが宝さがしの肝になります。この共感ポイントがないと、何を伝えたいのかがよくわからなくなります。宝だと自分（自分たち）も思う、その思いを大切に、どうしたら伝わるかなあと工夫してみてください。

宝を映像で伝えたい場合の基本プロセス（会議・取材・会議・撮影・編集）

- 1) 会議** 自分（自分たち）が、あれは宝ではないかあという予感を持ってさがします。（有名だからいいとか無名だからダメという基準はありません。）
背後に、その宝を守っている・世話している・大切に思っている人がいるだろうと想像してみてください。そのような人とのよい出会いができるよう、誰に声をかけるか等取材計画を考えてみてください。
- 2) 取材** 選んだら、それを大切に思っているであろう人・関係者の方にお話をまず聞いてみましょう。その話を丁寧に聞きながら、あらためてこれは人の思いが詰まっている宝だと自分（自分たち）も共感できたら、宝決定となります。
- 3) 会議** 次に、どこに共感したのかをはっきりさせるために、自分の共感ポイントを言葉にしてみます。（自分たちであれば、お互いの共感ポイントを話し合しましょう。）その共感ポイントこそ、宝映像のコンセプトです。そして撮影の計画をたてます。
- 4) 撮影** 撮影する場合は、人の場合は撮影してもいいですかという許可をもらいます。（建物や風景の場合も、必要あれば許可をもらいましょう）宝なので共感ポイントを大切に丁寧にカメラを回します。
- 5) 編集** 撮影が終わったらいよいよ編集です。どのように映像を編集したらその宝の魅力（魅力＝共感ポイント）が人にも伝わるのかをよく考えながら編集作業です。
映像は対象を鋭く切り取り刺激的な世界を作る力をもっています。ただ、刺激であれば、すぐに飽きられ消費されるとも言えます。
宝さがしの宝映像では、自分（自分たち）がそれを宝だから大切に思う（大切にしたい）という気持ちを込めて、他の人にもそのような気持ちになってくれたら嬉しいなあとの願いを持って、映像をつくることを大事にしてください。

誰かの大切に大切にすること「しみ抜き師」 服には色んな思いや思い出、その人だけの物語があります。

2) 「私の地域・文化研究」

きっかけ

当店は創業より48年間、江戸から続く100年以上の歴史を誇る洗濯技術としみぬきの技術を伝承しているクリーニング屋です。

昔ながらの技術を使い素材・縫製・染料によって処置や薬剤を一品一品使い分け、品物の仕上がりを第一に洗濯を行っている。

私は山形県山形市で生まれ育ち、実家のクリーニング業を間近で見ました。そのため、私にとっての「地元感」であり、自分自身の「ルーツ」でもあるのです。そして、私が地域の文化を研究するに当たり、この自分自身のルーツがある実家のお店がある場所こそが、私にとっての「私の地域であり、文化」であるということから、今回の地域文化研究では、実家のクリーニング屋で働く家族取材してみようと思う。

店舗しみ抜き処絹について

実家のお店では東京ランドリー・しみ抜き絹と別れています。創業のきっかけについて祖父に訪ねたところ、山形から15歳のときに上京し100年以上続くクリーニングの店舗に単身で弟子入りをして、この服を綺麗にする技術を山形や東北にも持ってきてほしいと考え独立後、地元山形で東京ランドリーをスタートさせました。そして、祖母が京都で染色補正の先生から染色補正、しみ抜きを教わり、しみ抜き処絹をオープン。現在は2代目の私の父そして3代目の私の兄が営業を続けている。

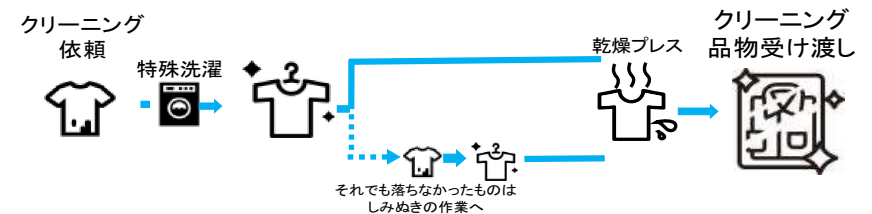
こだわり

一級国家資格 染色補正技能士「しみぬき師」による「しみぬき」。
私どもで言う「染み(シミ)」とは、
クリーニング(ドライ・水洗い)をしても落ちないものを言います。

当店では専門家である「しみぬき師」が「シミ」の状態を見極め、ベストな手順・技法を適用します絹のしみぬきは、薬品の知識、繊維の判別、染色に至るまで正しい知識と数多くの経験値から誰もが簡単にできる事が難しく永く継承して得た者にしか行えない特殊技術者がしみぬきをしている。



古くから伝わる歴史を伝承してだけでなく、厚生労働省が認定する日本唯一の着物を手掛ける事が出来る国家資格をもった職人が一品一品丁寧にしみ抜きを施している。



・理念

服を愛するすべての方に福を。

服好きだからこそ、こだわりの技術「あらい」
当店のクリーニング工程により大抵のしみ・汚れは落とせます。
この技術は品物によって薬剤や、処置をかえるため一つ一つの品物に時間がかかって
しまいます。

自動化しているクリーニング屋が増えている中、なぜこのような効率の悪いほうほう
をとっているのか。
それは、祖父からの服を着る人へのリスペクトがありました。



「服にはその人にしかない物語がある。」生前の祖父の口癖でした。
(この服は祖母からの形見なんです、初任給で買ったんです、
母から譲り受けた着物を着たい、)
人には自分が纏うものにいろんな思い入れがあるものです。
しかし、その大切な思い出が劣化やしみ、などの影響できれなくなってしまう。
そんな事がよくあります。
そんな人の大切な思い出を大切にできる人間でありたい。
それが私の兄の代まで色濃く残るこの仕事をする意義であり思いです。

・2代目3代目の思い

結局、笑顔が見たいだけなんだよね。たくさん話を聞いたあとに言わ
れた一言でした。



自分が大切にしているものにはきっと大切にしている理由があって、それがなんとなく
これじゃないとだめなんだよな、っていう感覚でも。
このものにはこんな思い出があって、ってエピソードがあっても。
どんな理由でもその人には、その人の人生にはきっと大切な一部なわけで、そんなも
のをもう一度輝かせたり、いつもの状態に戻すこと。

ただいつも通りに、元通りにするだけのことなんだけどその元通りのその人の中の日
常や思い出が戻ってくる事がその人にとってはかけがいのことだったりするんだよ
ね。
そう話していました。



祖母から母に受け継がれていた結婚式に着た着物。

カビが生えてたり、日焼けから色が変わってたり、
他の人からしたらただのボロかもしれない。

でも、それをきれいにして渡したときに娘さんが泣いて喜んでくれた。

そんなたくさんの方の物語にほんの少しでも関わっていること、
そして自分たちの力で笑顔になってくれる

地元の人達のおかげで自分たちはしごとを続けられているんだ。

ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）

動画撮影・制作

ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）

＜取材・インタビュー＞

聞かない・教えてもらわない

自身の感情・疑問・違和感をぶつける



対話をする

ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）

<動画編集>

自分たちらしく・自由に・楽しんで

楽しまなければ、伝わらない



大人に忖度しない・褒められようとししない

ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）

15秒動画も、写真も、
<対話><褒められようとしなない>は同じです。

応募にあたっての留意事項

ひょうごの宝探しプロジェクト（オンライン説明会）

応募作品の著作権、肖像権などの権利関係について

■ 著作権について

応募作品は、当該動画の著作権者（撮影者や作成者等）が、利用を許諾したものに限り、
また動画に応募者以外の方が映っている場合（撮影場所の管理者を含みます）
必ず応募前に、利用の許諾を得てください。

■ 権利の侵害について

応募作品は、実在する企業や人物、キャラクター、歌詞、楽曲、テキストなど
第三者の著作権、著作隣接権、著作者人格権、商標権、プライバシーの権利、名誉、個人情報
その他の権利を侵害せず、かつ法令および公序良俗に違反していない作品に限り、
応募作品に著作権、肖像権等第三者の権利侵害が認められた場合、応募者本人がその責任を
負うこととし、兵庫県ならびに事務局では対応しません。

■ 制作物の著作権の帰属について

作品の著作権は応募者（グループ）に帰属しますが、
応募時点から 2025 年 10 月 31 日までの間は
兵庫県の万博の PR を目的として、当該作品の原データを兵庫県に提供してもらい、
または当該作品を市町が無償で使用するについてご了承いただきます。
その際は、応募者名（グループ名）も合わせて表示される場合があることについてもご了承ください。

“たくさんのご応募お待ちしております！”

【応募期限】

3分動画（エントリー申込書）： 5月17日

15秒動画・写真： 6月28日